

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」(中学校部会)

視点1 行政との連携や働きかけ

- ・令和2年度より、「市学校教育予算に関する要望書」の重点要望事項の第一に「教職員の働き方改革について」を位置づけ、給食費の公会計化や校務支援システム、環境整備に係る業者委託等の予算要望を行っている。
- ・令和2年度より、県働き方改革モデル校に2校が指定されていることから、市議会で質問され、その後、留守番電話の導入等が進められた。
- ・校長会から要望し、令和3年度より教育委員会事務局に加え、校長会や教頭会、教務主任会、事務職員会の代表者による「石岡市小中学校働き方改革推進委員会」が組織され、行政と学校関係者とが連携した取組が進められている。
- ・今後は、市の「働き方改革基本方針」等の策定に向けて働きかけていく。

視点2 自校での取組

- ・学期末の事務処理時間確保のため、5時間授業を実施した。
- ・部活動における複数顧問制や外部指導者の活用を実施し、次年度の入学生に対して部活動希望調査を実施して部活動精選に着手する。
- ・学校行事の精選を行った。
 - ※体育祭を平日半日開催とし、種目内容の精選・練習や準備の時間を削減し、保護者の参観を中止した。
 - ※市内全小中学校で宿泊を伴う行事を中止し、日帰りの代替行事を実施した。
- ・PTA行事の縮減を行った。総会は資料配付のみ、授業参観は分散の授業参観を行い、懇談会は各学年の必要に応じた対応を行った。奉仕作業は中止または年1回に絞った。
- ・メールやHPを活用することで、欠席連絡や学校だより・学年だよりの紙媒体を廃止した。
- ・運営委員会・職員会議は事前にデータをフォルダに入れ、協議事項を中心に実施し、1時間以内に終了した。
- ・期末テストの科目を5教科に縮減した。
- ・留守番電話を、夏季18:30～7:30・冬季17:30～7:30に設定した。
- ・下校指導を縮減した。(当番制、実施箇所の縮減)

視点3 次年度に取り組みたいテーマ

- ・「GIGAスクール構想」に係る課題、取組
- ・「令和の日本型学校教育」の構築に係る課題、取組
- ・「部活動改革」に向けた課題、取組
- ・働き方改革を推進する中での教育課程編成の仕方や工夫(部活動や行事等の持ちかた)